

釜ヶ崎救援会に結集を。

初めて釜ヶ崎に大規模な「暴動」が生起したのは一九六一年八月のことです。その年から数えて十年目にあたる今年の五月二五日、かつてない長期にわたつた「暴動」が釜ヶ崎の街を揺るがしました。そして間を置かず六月、九月とそのエネルギーの展開を見せつけたのでした。

これら一連の「暴動」の背後には、三六年暴動が交通事故処理に端を発したように、貫して労働者を人間として扱わず敵視する警察の治安対策、及び憲法で保障されている「健康で文化的な最低生活」とは程遠い環境を見て見ぬふりをし続けて来た大阪府、市の行政の姿勢があります。

一切の人権が奪われ法律すら適用されない釜ヶ崎において、ひたすら行蚊の尻ぬぐいをし、労働者の不満を押さえん為、西成署は街の辻々にテレビカメラを取りつけ、街中に労働者の服装をした私服を放つています。そして四百人という看員の敵にものを言わせ機動隊とパ

トロールを続け、又ある時は演芸大会をやるなど硬軟両用使い分けひたすら労働者に弾圧を加えて来ました。五月の「暴動」の直接のきっかけは、辰巳商工会との就労に伴う労働争議に警察が介入し、その事を西成署に抗議に行つた労働者の内先頭にいた数名を強引に引きずりこんだことにあります。それとも忘れる事はできません。

一連の「暴動」のなかで警察は多くの労働者を逮捕し、更に「泥酔保護」の名目の本と大量の労働者を予防検束し奉行を加え留置しました。その数は五月の「暴動」だけで百名を超えていました。

しかも労働者の自然発生的を囮いを糾殺するために、対ビラ等を口実として「煽動者説」を打ち出すといふ卑劣な行為に出ました。そして更に血迷つた西成警察は、地道な活動を続けていた釜ヶ崎における唯一の労働組合全港労働組建設支部四成分会に焦点を合わせました。七月の末に三ヶ月も遙かメーデーモーニング奉行事件があつたとし、分会長をはじめとする組合員四名の逮捕といふ暴挙にでたのです。そして九月に入つて、正当な労働争議を恐嚇事件と規定し、副分会长、書記長、そして一般労働者も含めた八名を逮捕し、七名を起訴しています。

これは組合つぶし以外の何物でもありません。

「暴動」においても、逮捕されたものの大半は、わずか石ころ一個を投げたことにより公務執行妨害の罪に問われ起訴されています。しかも何もやつていらない労働者をも一方的に検挙し、「石一つ投げたと言つてもどうつてことはない、認めれば三泊四日で出してやる」と法律に無知な労働者を甘言でつり罪に陥し入れる等、狹山差別裁判と同じやり方で権力は卑劣な弾圧を加えています。

「一体権力はわずか石ころ一個を投げたものを何によつて威こうとしているのでしょうか。」

昭和三十六年の第一次「暴動」では百八十二人の検挙者の内百十三人が起訴され百四人が有罪判決を受けています。そして五月以来の一連の騒ぎでは百五十名にも及ぶ検挙者を出しているのです。

私達は、ここに再び同じ轍を踏まない為、無告の民を権力の手から守る為に「釜ヶ崎救援会」を設立致します。釜ヶ崎救援会は、現在の救援活動の輪を広げ、資金等の基盤を固める目的を持つとともに、眞の釜ヶ崎を外に伝えるための機関です。釜ヶ崎救援会は市民社会と釜ヶ崎を結ぶパイプ役を果さねばなりません。なぜなら、釜ヶ崎は市民社会より歴然と差別されており、その解放のために必ずその両者を結ぶ媒介が必要なのです。多くの方々がこの趣旨に賛同され、会員となつて労働者、活動家の救援活動に支援、参加されることをお願いします。

釜ヶ崎救援会（準備）

会員一同

釜ヶ崎救援会の機能

一、主な役割と仕事

逮捕者の割り出し

- 1 関西救援連絡センターと密接な連絡と提携によつて、逮捕者への弁護士の世話。
- 2 弁護士との協力のもと、弾圧の究明と宣伝及び法廷闘争の追求。
- 3 差し入れ、接見。
- 4 救援資金の確保（街頭カンパ等）
- 5 最低月一回救援会ニュースを発行する。
- 6 事務局は関西救援連絡センター内に仮に置く。
（大阪市北区浪花町一二五 電話三七二一〇七七九）
- 1 事務経費及び諸経費は世話人と賛同会員の会費によつてしまかぬ。（賛同会費とは、釜ヶ崎救援会の主旨に賛同し、会費をおさめる団体、個人）
- 2 会費は、月額一口三百円以上とする。
- 3 会計報告は救援会ニュースを通じて定期的に行う。

二、会計

申し込み書

釜ヶ崎救援会の主旨に賛同し、救援活動に協力するとともに、月額 一 口 円 の会費(維持費)を納めます。

氏名 _____ 住所 _____

年令 _____ 職業 _____ TEL _____

備考（困る場合は御記入下さい。例、氏名の公表、葉書の連絡は困る…等）

注“会費は月額最低一口三百円、前払いとします。

本公司には会員約もなく、脱会、再入会は自由です。申し込まれた貴方には最低月一回発行される“救援会ニュース(仮題)”を会計報告とともに送ります。そこで、“救援会ニュース”だけでも読んでくれそうな人、会員になってくれそうな人、特貴方の友人を御紹介下さい。

氏名 _____ 住所 _____

氏名 _____ 住所 _____

注“作成した名簿は、ニュースの発送、事務連絡にのみ使用します。他への流用は一切いたしません。